

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年8月13日

**【四半期会計期間】** 第66期第3四半期(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

**【会社名】** S H O - B I 株式会社

**【英訳名】** SH0-BI Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 寺田正秀

**【本店の所在の場所】** 東京都港区港南二丁目15番1号

**【電話番号】** 03 - 3472 - 7890

**【事務連絡者氏名】** 取締役戦略室長兼管理本部長 鎌形敬史

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市北区西天満六丁目4番18号

**【電話番号】** 06 - 6365 - 7001

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 三好康雄

**【縦覧に供する場所】** S H O - B I 株式会社 大阪本社  
(大阪市北区西天満六丁目4番18号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年9月30日
売上高	(千円)	9,985,097	12,162,816	13,781,474
経常利益	(千円)	354,336	345,704	413,408
四半期(当期)純利益	(千円)	454,471	259,598	481,542
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,012,028	203,387	928,935
純資産額	(千円)	5,418,849	5,279,036	5,335,756
総資産額	(千円)	14,364,072	13,571,891	13,727,092
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	33.89	19.36	35.91
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		19.36	
自己資本比率	(%)	37.7	38.9	38.9

回次		第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	2.22	0.49

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第65期第3四半期連結累計期間及び第65期は潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、非連結子会社であった粧美堂日用品(上海)有限公司は、重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年6月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策などが下支えする中、企業業績が改善し設備投資が上向くなど回復基調が続きました。個人消費においては、平成26年4月の消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動から振幅の大きい動きとなりましたが、雇用情勢や所得環境の改善に伴い全般的に堅調に推移しました。一方、当社の主要取引先である小売業界では小売各種業態での出店の増加に加えM & Aの活発化など業態の垣根を超えた競争が激化しており企業間格差が広がっております。

このような状況の中で、当社グループは「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」のスローガンの下、「売上高成長による利益額拡大」という成長ステージの第2ステップの3年目に入りました。商品企画部を企画開発グループ、O E M生産グループに分け、より顧客ニーズに対応した自社企画商品をスピーディーに市場に投入できる体制づくりを進めております。この結果、アンチエイジング関連商品など従来の当社グループの顧客層と異なる客層に向けた商品の開発が進みました。また、一時期不振だったキャラクター雑貨も回復傾向にあります。前連結会計年度に取り扱いを開始したコスメコンタクト®(注)1はロフト、ローズマリーなどの高質なバラエティストアのほか、ドラッグストア、総合スーパーでの販売が順調に進んでいるほか、キャラクター商品に強みを持つ当社グループならではの新品「キャラコン」(注)2を上市するなど積極的な取り組みを行っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,162,816千円（対前年同期比21.8%増）、営業利益は346,029千円（対前年同期比143.7%増）、経常利益は345,704千円（対前年同期比2.4%減）、四半期純利益は259,598千円（対前年同期比42.9%減）となりました。

なお、前年同期比については、当社は平成25年4月30日付で株式会社メリーサイトを子会社化したことに伴い、前第3四半期連結会計期間より作成した四半期連結財務諸表との比較であります。

(注)1. コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

2. 「キャラコン」は、キャラクターコンタクトレンズの略称。当社の商標登録です。

当社グループの事業セグメントは、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、単一の事業セグメントであります。取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

#### 化粧品雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は7,253,978千円（対前年同期比0.1%増）となりました。

#### コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は2,197,036千円（対前年同期比445.1%増）となりました。

#### 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,465,951千円（対前年同期比28.8%増）となりました。

#### その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,245,850千円（対前年同期比4.1%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度に比べて155,200千円減少し、13,571,891千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて833,979千円減少し、9,087,147千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が279,522千円、商品が263,190千円、その他が239,960千円増加したことに対し、現金及び預金が1,545,723千円、為替予約が100,682千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて678,779千円増加し、4,484,743千円となりました。これは主に、投資その他の資産が870,978千円増加したことに対し、有形固定資産が37,793千円、無形固定資産が154,405千円減少したことによるものであります。

### 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて98,480千円減少し、8,292,855千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて401,092千円減少し、4,533,444千円となりました。これは主に、買掛金が245,645千円、1年内返済予定の長期借入金が369,386千円増加したことに対し、短期借入金が100,000千円、未払法人税等が280,675千円、その他が586,449千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて302,612千円増加し、3,759,410千円となりました。これは主に、長期借入金が660,940千円増加したことに対し、役員退職慰労引当金が357,448千円減少したこと等によるものであります。

## 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて56,720千円減少し、5,279,036千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が56,292千円増加したことに対し、利益剰余金が71,626千円、繰延ヘッジ損益が56,498千円減少したこと等によるものであります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,640,000
計	48,640,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,410,000	13,410,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定のない 当社における標準の株式
計	13,410,000	13,410,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		13,410,000		545,500		264,313

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,407,000	134,070	単元株式数 100株 権利内容に何ら限定のない当社における標準の株式
単元未満株式	普通株式 3,000		
発行済株式総数	13,410,000		
総株主の議決権		134,070	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式85株が含まれております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

氏名	新役職名	旧役職名	異動年月日
鎌形 敬史	取締役戦略室長兼管理本部長 粧美堂日用品(上海)有限公司 董事 株式会社メリーサイト 取締役(非常勤)	取締役管理本部長 粧美堂日用品(上海)有限公司 董事 株式会社メリーサイト 取締役(非常勤)	平成26年1月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,003,478	3,457,755
受取手形及び売掛金	2,596,888	2,876,411
商品	1,547,784	1,810,974
貯蔵品	87,674	100,220
為替予約	592,602	491,919
その他	115,683	355,644
貸倒引当金	22,983	5,777
流動資産合計	9,921,127	9,087,147
固定資産		
有形固定資産	1,956,698	1,918,904
無形固定資産		
のれん	667,332	558,132
その他	293,472	248,267
無形固定資産合計	960,805	806,399
投資その他の資産		
その他	891,547	1,781,059
貸倒引当金	3,086	21,620
投資その他の資産合計	888,461	1,759,439
固定資産合計	3,805,964	4,484,743
資産合計	13,727,092	13,571,891
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,092,188	2,337,833
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,164,732	1,534,118
未払法人税等	336,660	55,985
賞与引当金	137,000	84,900
返品調整引当金	32,500	35,600
その他	971,456	385,007
流動負債合計	4,934,537	4,533,444
固定負債		
長期借入金	2,922,334	3,583,274
退職給付引当金	55,214	35,754
役員退職慰労引当金	412,704	55,256
資産除去債務	37,035	37,453
その他	29,509	47,671
固定負債合計	3,456,798	3,759,410
負債合計	8,391,335	8,292,855

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,161,867	4,090,240
自己株式	52	52
株主資本合計	4,971,628	4,900,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,075	30,289
繰延ヘッジ損益	346,052	289,554
為替換算調整勘定	-	56,292
その他の包括利益累計額合計	364,127	376,136
新株予約権	-	2,898
純資産合計	5,335,756	5,279,036
負債純資産合計	13,727,092	13,571,891

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,985,097	12,162,816
売上原価	7,051,405	8,590,913
売上総利益	2,933,692	3,571,903
返品調整引当金戻入額	28,100	32,500
返品調整引当金繰入額	31,500	35,600
差引売上総利益	2,930,292	3,568,803
販売費及び一般管理費	2,788,278	3,222,773
営業利益	142,013	346,029
営業外収益		
受取利息	6,124	15,486
受取配当金	6,789	3,018
不動産賃貸収入	105,907	20,685
為替差益	160,621	-
その他	16,507	23,224
営業外収益合計	295,950	62,414
営業外費用		
支払利息	34,028	42,926
不動産賃貸費用	35,067	13,106
その他	14,532	6,707
営業外費用合計	83,628	62,740
経常利益	354,336	345,704
特別利益		
固定資産売却益	785,555	-
保険解約返戻金	9,760	28,196
特別利益合計	795,316	28,196
特別損失		
固定資産除却損	7	6,620
固定資産売却損	363,194	-
減損損失	2,202	-
特別損失合計	365,404	6,620
税金等調整前四半期純利益	784,247	367,280
法人税、住民税及び事業税	332,964	113,774
法人税等調整額	3,187	6,092
法人税等合計	329,776	107,682
少数株主損益調整前四半期純利益	454,471	259,598
四半期純利益	454,471	259,598

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	454,471	259,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,946	12,213
繰延ヘッジ損益	502,610	56,498
為替換算調整勘定	-	11,925
その他の包括利益合計	557,556	56,210
四半期包括利益	1,012,028	203,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012,028	203,387

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第3四半期連結会計期間より、重要性が増した粧美堂日用品(上海)有限公司を連結の範囲に含めております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正) 「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成26年10月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異について、前連結会計年度の38.01%から35.64%に変更されております。 なお、この税率変更に伴う影響は軽微であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
当座貸越極度額の総額	3,300,000千円	3,620,584千円
借入実行額	200,000千円	100,000千円
差引額	3,100,000千円	3,520,584千円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	128,537千円	133,529千円
のれんの償却額	24,502千円	109,199千円

## (株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月15日 取締役会	普通株式	301,723	22.50	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月15日 取締役会	普通株式	201,148	15.00	平成25年9月30日	平成25年12月11日	利益剰余金
平成26年5月15日 取締役会	普通株式	67,049	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

当社グループは、化粧雑貨、服飾雑貨、キャラクター雑貨及びコンタクトレンズ関連等の商品を幅広く取り扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	33.89円	19.36円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	454,471	259,598
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	454,471	259,598
普通株式の期中平均株式数(株)	13,409,915	13,409,915
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		19.36円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		654
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第66期（平成25年10月1日から平成26年9月30日まで）中間配当について、平成26年5月15日開催の取締役会において、平成26年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	67,049千円
1株当たりの金額	5.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年6月9日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月13日

S H O - B I 株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	長	坂	隆	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	増	田	豊	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているS H O - B I 株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年10月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、S H O - B I 株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。